

問4 中学生のAさんは、授業で「地元の商店街を紹介する」スピーチをするため、商店街の方にインタビューを行いました。次の「インタビューの様子」と、Aさんが書いた「メモ」を読んで、あとの問いに答えなさい。

インタビューの様子

Aさん「今日はありがとうございます。さつそくですが、この商店街の名物といえば何ですか。」

B店長「はい。この商店街の名物といえば、何といても築百年をこえる時計塔です。大正時代の建築物であり、商店街の象徴です。遠方からわざわざ見に来る方もいます。」

Aさん「なるほど。では次に、商店街にあるお店や商品についてのお話を聞かせてください。」

B店長「そうですね。この商店街は長い歴史があるため、伝統のあるお店がたくさんありますよ。特に通りの中心にあるパン店のあんパンは、五十年以上売れ続けている人気商品です。」

Aさん「それはすごいですね。わたしも以前食べましたが、すごくおいしかったです。何か特別な工夫があるのでしょうか。」

B店長「一度にたくさん作らずに、少ない数を一日に何度も焼き上げることで、常に焼きたてを提供できるようにしているそうです。お店といえは他にも、人形店や呉服店など伝統的な品物を扱っている店舗や、若い人たちに人気のスポーツ用品店や洋菓子店など、商店街ならではの様々な専門店がありますよ。」

Aさん「色々なお店を回りながら、ぶらぶらと歩くだけでも楽しそうですね。」

B店長「そのとおりです。その場合は、地元の高校生がデザインした、商店街オリジナルの地図をおすすめしています。一枚どうぞ。」

Aさん「ありがとうございます。手書きのイラストやコメントがたくさん入っていて、とても見やすい地図ですね。これはどこで手に入れることができるのでしょうか。」

B店長「商店街の中にある案内所で散策用に配っていますよ。」

Aさん「わかりました。次に、商店街の今後の課題について教えてください。」

B店長「課題としては、商店街全体での一体感が少し足りないことでしょうか。また、一部の店では、技術を受け継ぐ若い世代の人がいないという問題があるようです。」

Aさん「それは、今後社会へと出ていく私たちにも関係のある問題ですね。」

B店長「そうですね。中学生のみなさんには、ぜひ色々な職業に興味をもって、調べたり体験したりしてほしいと思います。」

Aさん「わかりました。学校でも伝えたいと思います。」

「インタビューが続く」

●商店街の名物  
 → 時計塔(大正時代の建築物)

●通りの中心にあるパン店  
 → 50年以上売れ続けているあんばん  
 → 常に焼きたてを提供

●人形店・呉服店(伝統)

●スポーツ用品店や洋菓子店(若い人に人気)

商店街オリジナルの地図 → 地元の高校生がデザイン

●課題①  
 商店街全体の一体感が不足 → 商店街のお祭りを企画中

●課題②  
 一部のお店で、技術を継承する人がいない

↓

色々な職業について、調べたり体験したりしてほしい

☆ 私たちにも無関係ではないので、何かできることはないか、スピーチのまとめとして考えておく。

(1) Aさんは、このインタビューにおいてどのような工夫をしていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

- ア 相手の緊張を緩和しこちらへの親しみをもってもらうため、敬語を使用せずに話す。
- イ 相手の話題が質問の内容からそれってしまったときは、それを伝えて流れを修正する。
- ウ 相手の回答を受けて、より詳しく聞きたい話題に対しさらに踏み込んだ質問をする。
- エ 相手の話が一部聞き取れなかったときは、内容を復唱し正しいかどうかを確認する。

(2) ぶらぶらと歩く とありますが、同様の意味をもつ二字の熟語を、インタビューの様子 から探し、書き放しなさい。(3点)

(3) 【メモ】の内容には、インタビューの様子 からは得ることのできない情報が入っています。AさんはB店長にどのような質問をして、その情報を得たと考えられますか。質問文を考えて書きなさい。(3点)